

令和元年度 南相馬市地域課題解決調査研究事業補助金 採択大学

No	申請団体名	所在地	調査研究名	補助金額 (単位：千円)	事業概要
1	東京海洋大学 グローバル教育 研究推進機構	東京都 港区	南相馬市の農家民宿の魅力 を伝える映像制作プロ ジェクト	300	南相馬市の農家民宿に焦点を当て、農家民宿を運営するオーナーの思い、農家 民宿に宿泊した人の声、地域資源を豊富に活用した南相馬市独自の農家民宿の特 特色などを調査するとともに、その調査を元に、県内外の方、さらには外国人の 方にも向けたえPR映像を制作し、効果的な情報発信を行う。
2	成蹊大学ボラン ティア支援セン ター	東京都 武蔵野市	東北と日本の未来プロジ ェクト 2019 in 南相馬	300	南相馬市の魅力ある資源(まち、ひと、自然、環境)を調査し、PRとしてよ り有効なものを選び出し、PR媒体を制作するとともに、全国の大学に情報発信 を行う。また、新たな魅力ある資源として、福島県イノベーションコースト構想 と絡め、沿岸部におけるドローン練習場としての可能性調査を行う。
3	大阪大学	大阪府 吹田市	多帰還連携による南相馬 市の子どもの支援体制の構 築(PHASE1)	300	学校ボランティアとして大学生を小中学校に派遣し、子ども達との交流機会の 創出、また学校外でのワークショップを実施することによって学校という枠組み にとられない子ども同士の関係性の構築を図る。 生涯学習センター等を活用した子ども達と大学生の交流のため、学習支援活動 やワークショップを実施し、各団体との連携方策や、複数大学と協力しての実施 について可能性を模索する。
4	早稲田大学政治 経済学術院 高橋恭子ゼミ	東京都 新宿区	映像で記録する南相馬の 過去と現在～大学生と小 学生との協働を中心に～	300	「メディアを主体的に読み解き、コミュニケーションを想像する能力」を養う メディア・リテラシー教育のアプローチを活用し、小学生と大学生が協働し、映 像の力をとおして、南相馬の復興について発信する。大学生と協働することで、 小学生の「メディアを主体的に読み解き、コミュニケーションを創造する能力」 を養うことにつなげる。制作した作品は地域での上映、サイト、大学内のイベン トでの公開を予定している。
5	福島大学	福島県 福島市	南相馬市における継続的 な課題発見・解決型調査 「むらの大学」	300	小高区における居住人口の減少と高齢化、地域コミュニティの再編、営農意欲 の低下、風評被害、歴史文化の継承と発信に関する困難等の課題を解決するため、 小高区において、「生活・コミュニティ」「農業」「歴史・文化」の3班に分かれ、 住民等を対象とする聞き取り、フィールドワークを行う。それを基に、課題分析、 解決策の考察・検証を行い、最終的な地域課題解決プランを提案する。
6	福島大学 食農学類	福島県 福島市	土地利用型農業の振興と 農地再生プロジェクト	300	農業者の高齢化や担い手不足に加え、東日本大震災及び原発事故の影響によ り、就農意欲が減衰していることを踏まえ、地区ごとに抱える課題に対し解決策 を検討する。 (小高区)耕作放棄地の再生を目標とした調査を行う。 (原町区、鹿島区)特産品やその加工開発を目的とした調査を行う。 その他、全ての地域において、大規模水田や特産品などの利用が難しい中山間 地域の小規模な田畑において、新たな土地利用を検討する。

7	大阪体育大学 社会貢献センター	大阪府泉南 郡熊取町	スポーツの持つコミュニケーションズにおける重要性	300	震災の影響により一度壊れてしまったコミュニティの再構築をはかるため、高齢者の体力測定（運動指導・認知機能検査含む）、復興住宅集会所でのサロンにおけるレクリエーション活動の効果測定、小学校での体育指導による聞き取り、地域スポーツクラブ活動支援の効果測定調査を行う。 上記のそれぞれの活動参加者を対象に、被災地の現状とコミュニティの現状を把握し、「スポーツ・レクリエーション」による効果測定を実施する。
8	新潟県立大学	新潟県 新潟市	子どもの非認知能力を伸ばす放課後学童クラブ支援	300	児童センター、放課後児童クラブにおいて、保育福祉系の大学生スタッフを派遣し、放課後児童クラブの職員とともに、重層的な子ども支援事業を実施する。 大学生の派遣人数は、おおむね30人、各放課後児童クラブへ2~4人配属を予定し、昨年度実施のプログラムとの比較をとおして、子どもたちの様子を把握する。事業の最後に成果報告会の実施を予定している。